

ワーケーション事業 伴走支援者プロフィール情報

ふりがな	サトウ タツキ	
氏名	佐藤 樹生	
所属組織	オフィス藤樹 代表	
略歴	秋田県出身。旅行代理店グループ、コンサルティングファームの公共部門を経て、独立。東京から仙台へ拠点を移し、観光領域における多様な事業経験と業界知識を生かしたコンサルティングに引き続き取り組む一方、東北大学大学院法学研究科（公共政策大学院）に在学し、政策研究を行っている。働き方の自由度を生かしたワーケーション実践者であると同時にいわゆる「リカレント」実践者でもある。政策・戦略等の立案や伴走型の計画・実行支援のみならず調査研究も得意とし、なかでも観光領域の政府系国際会議（G20 観光大臣会合ほか）等の企画・運営支援、ポストコロナ時代における提言活動をはじめ、官・民双方による幅広い内容の観光関連事業の推進支援を通じた「観光振興による社会課題の解決」に取り組んでいる。	
保有資格	総合旅行業務取扱管理者資格（2009年）	
実績	いずれ令和4～5年度観光庁事業における受嘱業務（伴走支援系のみ）※ワーケーション関連は別途記載 ・観光DX推進緊急対策事業…伴走コンサルティング ・DXの推進による観光サービスの変革と観光需要の創出業務採択実証事業…同上 ・事業者間・地域間におけるデータ連携等を通じた観光・地域経済活性化実証事業…同上	
ワーケーション関連の専門性	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て世代も参加可能な業務型ワーケーション実証事業 <input type="checkbox"/> デジタルノマド受入に向けた環境及び体制整備に関わる実証事業	
ワーケーション関連の実績	R5:観光庁 ワーケーション普及事業 伴走支援者 受入地域側ではなく、送り手企業側からその事業推進を支援。既に先進的な取り組みを進めている送り手企業において、更なる普及・促進を図るための制度設計や有効な施策について検討・助言を行った。 R5:国土交通省 地域交通競争モデル実証 外部有識者 北秋田市におけるワーケーション受入強化に向けた現地ワークショップに観光領域の有識者として招聘される。フィールドワークを実施し地域資源を生かしたあるべき方向性について検討・助言を行った。 R4:観光庁 企業ニーズに即したワーケーション推進に向けた実証事業 コーディネーター モデル企業とモデル地域に対する伴走支援を担当。特にモデル地域における多様な地域資源自体の価値、それらの資源を活用した魅力あるコンテンツ化の可能性、全体的なオペレーションの状況などについて自らの目で確認し、検討・助言を行った。	
申請を検討する事業者へ	「持続可能な観光」や「責任ある観光」といった潮流のもと、旅行者と観光地・観光関連事業者等が互恵的な関わり合いのもと、相互に裨益し合う「好循環」を築くことが必要であると私は考えています。その文脈においてワーケーションの誘致は地域の皆様にとって今後の関係人口増加に繋がり得る有効な手段、つまりそれによってこれまで自地域を訪れることの無かったような人々との良質かつ深い接点を持ち得る機会と位置づけられ、そうした切り口からの「持続可能な観光地経営」の推進にも大きな可能性があります。今年度は子育て世代のニーズを正しく捉え、それらに合致した受入環境整備のために何が重要なのかというポイントについて、本実証事業を通じて検証することが期待されています。事業者の皆様のお取組みが他地域にも横展開可能な、新たな示唆を導出する有意な「挑戦」となるよう、観光領域における自身のこれまでの経験と実績を生かしてご支援できればと考えております。	
<伴走支援マッチング希望> 事業者の応募申請時		
添削可能件数	2件	